

部局名	都市整備部	所属名	都市計画課	所属長名	藤代 重幸	電話	483-1151 内線3510
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4054	事務事業名称	公共交通対策事業				短縮コード	経常	4054	臨時	4055
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費		
目	01		都市計画総務費								
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市交通問題協議会設置条例 八千代市バス体系検討委員会設置要領 八千代市バス運行対策費補助金交付要領 八千代市鉄道駅エレベーター等整備事業費補助金交付要綱							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)											
市民の広域的な活動を円滑にする移動環境を形成していくため、鉄道、バスなどの機能連携を図り、公共交通の整備を推進する。 「八千代市交通問題協議会」は昭和46年に、本市の交通問題に関する調査、研究及びその対策について協議することを目的に設置。 「八千代市バス体系検討委員会」は平成8年、東葉高速鉄道の開通に伴って市内のバス体系が見直されたことを契機に、バス交通に関する調査・研究及びその改善を図ることを目的に設置。 「八千代市バス運行対策費補助金」については、平成14年2月に道路運送法が改正され、乗合（路線）バス事業の需給調整規制が撤廃されたことから、平成14年度より実施。											
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	04	快適生活空間都市をめざして				
不採算路線の存否に関する検討が進み、バス事業者から退出の意向が示される案件が減少してきたが、今後も休・廃止を含め、バス路線の再編が進むことが予想され、自治体の交通政策のビジョンの明確化が求められている。また、公共施設循環バスのコミュニティバス化への検討に伴い、路線維持に係る補助制度の廃止が考えられる。 「八千代市バス体系検討委員会」は20年6月廃止。現在は八千代市地域公共交通会議により協議している。					大項目 (節)	01	交通				
					中項目	01	総合交通				
						02	公共交通				
					小項目 (施策)	01	総合交通機能の形成				
						02	バス輸送の充実				
				細項目	01	バス路線網等の整備・充実の要請					
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計画事業期間	昭和46年10月 ~		計画事業費	千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	①市内公共交通機関に関する諸問題 ②バス交通に関する諸問題 ③バス事業者から休・廃止の申出があった市内バス路線						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成21年度に実際に行ったこと： 八千代市地域公共交通会議の開催 (公共施設循環バスの見直し) 路線バス乗車場用地として勝田台駅北口広場隣接の用地を借り上げた。 阿宗橋線運行事業補助金の交付 ※平成22年度に計画していること： 八千代市地域公共交通会議の開催 (公共施設循環バスの見直し方針を決定する) 路線バス乗車場用地として勝田台駅北口広場隣接の用地を借り上げる。 阿宗橋線運行事業補助金の交付 鉄道駅エレベーター整備事業補助金の交付						
意図 (何を狙っているのか)	市内公共交通機関に関する諸問題を改善または、解決する。 市内を運行する路線バスや公共施設循環バスに関する諸問題を改善する。 生活交通路線を維持する。						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	20年度	21年度		22年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	協議会で検討した諸問題の数	件	0	0	0	0
	指標2	検討会で検討した諸問題の数	件	1	1	2	1
	指標3	休・廃止の申出系統数	系統	0	0	0	0
活動指標	指標1	協議会の開催回数	回	0	0	0	0
	指標2	検討会の開催回数	回	2	3	2	3
	指標3	補助金額	千円	0	0	1	1
成果指標	指標1	協議会で結論を出した諸問題の数	件	0	0	0	0
	指標2	検討会で結論を出した諸問題の数	件	0	1	1	1
	指標3	補助対象路線沿線におけるバスが便利だと感じている住民の%	%				
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4054	事務事業名称	公共交通対策事業		所属名	都市計画課	
	単位	20年度		21年度		22年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円				78,000
		県	千円				5,089
		地方債	千円				
		一般財源	千円	15,687	11,115	12,677	81,545
		その他	千円	1,440	1,440	1,440	1,440
主な事業費の内訳		公共施設循環バスあり方支援業務委託料 2,184 ノンステップバス補助金 2,532 勝田台駅北口用地借上料 11,390		勝田台駅北口用地借上料 11,390 阿宗橋線運行事業費補助金 760 地域公共交通会議委員報酬 238		勝田台駅北口用地借上料 11,390 阿宗橋線運行事業費補助金 760 交通移動手段に関するアンケート調査集計・分析業務委託 1,050 地域公共交通会議委員報酬 357	
人件費 (B)		千円	16,493.8	14,431.8	14,431.8	14,431.8	
トータルコスト (A)+(B)		千円	33,620.8	26,986.8	28,548.8	180,505.8	

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	施策「総合交通機能の形成」「バス輸送の充実」に結びついている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	公共交通に関する諸問題対策を引き続き実施する。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	バス事業者から退出の意向が示された路線の代替運行への補助金交付事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	所期目的の変更はない。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	国の地域公共交通活性化・再生総合事業補助金を活用するため法定協議会の設置、また、交通問題協議会の統合、廃止について検討をする。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
		<input type="checkbox"/> 民間委託等				
<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用	2	実施主体 (所管部署)				
<input checked="" type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し						
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input checked="" type="checkbox"/> ない					

コード	4054	事務事業名称	公共交通対策事業			所属名	都市計画課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			交通問題協議会、地域公共交通会議、及び法定協議会の組織の検討																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通問題協議会、地域公共交通会議、法定協議会の組織統廃合等の検討を行う。 国の補助を活用した場合は、法定協議会開催費用や計画策定に伴う調査費用等が削減になる。	
		経 費																											
		削 減	不 変	増 加																									
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不 変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>交通不便地域の住民からのバス路線の充実や、公共施設循環バスのコース変更、増便などが求められている。 休・廃止路線への行政としての交通利便策を講じてほしいとの意見が出ている。 勝田台駅北口用地借地料については、引き続き借地という方法ではなく、勝田台駅北口広場としての整備を考えるべきであるとの指摘が出ている。 （20、21年度定期監査）</p>	

所属長コメント	公共交通については、交通ネットワークの形成等利便性の向上のため、今後も効率化を図っていく。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	法定協議会の設置、交通問題協議会の統廃合の検討については、順次推進すべき。